

阿蘇家保だより

令和3年2月号

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



国内で高病原性鳥インフルエンザが相次いで発生！！

今シーズン（2020～2021年）は世界的にも鳥インフルエンザの発生が相次ぐ非常事態です。カモや白鳥等の渡り鳥がウイルスを保有して飛来しており、国内においても、鳥インフルエンザウイルスが環境中に多量に存在していると考えられます。

今シーズンのウイルスは、**感染してから死亡するまでの期間が長い傾向**があるため、鶏の症状に注意を払う必要があります。特に、下に示す症状は要注意です。しかし、必ずしも全ての症状がみられるわけではありません。2021年1月21日に千葉県において確認された、**あひる飼養農場における高病原性鳥インフルエンザの発生**については、「**産卵率の低下**」の通報により発生が確認されました。

日々の健康観察をしっかりと行い、「**いずれかの症状に当てはまる**」「**何か異状がみられる**」「**死亡羽数が増えている**」等を確認した場合は、速やかに当所まで御連絡いただくようお願いします。

元気消失



肉冠のチアノーゼ



顔面の浮腫性腫脹



突然死



写真出典：農研機構動物衛生研究部門

早期発見
早期通報をお願いします。

農場・人・物・車両の消毒を徹底し、
ウイルス量を一定量以下まで減らして感染を防止しましょう！

ワクチン接種で牛の異常産を予防しましょう

流産、早産、死産、体形異常など「牛の異常産」は、細菌、ウイルス、栄養障害など様々な原因があります。中でも、蚊やヌカカが媒介するアカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症による異常産は、時に大規模な発生となり、経済的な損失が大きい疾病です。これらの疾病は全国で散発しており、熊本県でも2013年及び2019年に牛のアカバネ病が、更に2019年には牛でピートンウイルスの関与が疑われる異常産が発生しました。これら4つの疾病は、ワクチンにより予防できますので、母牛に本ウイルスを含むワクチンを毎年接種し、農場及び地域全体の抗体保有率を高めることが重要です。

なお、2020年には県内でイバラキウイルス（もしくはその近縁のウイルス）、チュウザンウイルス、サシユペリウイルスの動きが認められています。

主な牛アルボウイルス感染症の症状とワクチンによる予防

疾病名	アカバネ病	アイノウイルス感染症	ピートンウイルスの関与を疑う異常産	チュウザン病
発生時期	夏～翌年春			秋～翌年春
臨床症状				
	水無脳症（大脳欠損や小脳欠損）			
	<ul style="list-style-type: none"> ・流産・早産・死産 ・脊柱のわん曲 ・起立困難 ・盲目等の神経症状 		<ul style="list-style-type: none"> ・虚弱、盲目、起立不能 ・体形異常はない ※ディアギュラウイルス感染症も同様の症状 	
ワクチン	異常産3種混合ワクチン（アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症） 異常産4種混合ワクチン(上記+ピートンウイルスの関与を疑う異常産)			
	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖牛に4週間隔で2回、筋肉内に接種する。 ・前年に接種経験のある牛は、1回、筋肉内に接種する。 ・ウイルスを媒介する吸血昆虫（蚊やヌカカ）が活発化する前に接種する。 			

これらの感染症に加え、イバラキ病も異常産を引き起こします。ワクチンが有効ですので、確実なワクチン接種を行い、予防しましょう！

定期報告及び畜産統計に係る調査に御協力ください

家畜伝染病予防法の規定に基づき、全ての家畜の所有者は、毎年、その飼養している家畜の頭羽数及び衛生管理の状況を県へ報告しなければならないとされています。また、本県では、畜産の動向を把握し、畜産行政の基礎資料として活用することを目的として、熊本県畜産統計の調査を行っています。

飼養頭羽数に関わらず、家畜を所有している場合は、お住まいの市町村へ報告様式をご提出くださるよう、御指導願います。



調査時点 令和3年(2021年)2月1日

提出期限 令和3年(2021年)2月8日

※今年は、外国人労働者受け入れ状況及びスマート農業技術(畜産)導入状況調査も併せて実施しています。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	型	発生地(国)	畜種	発生日月
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N5	台湾(11件)	家禽・野鳥	令和2年11月13日~11月23日(4件) 令和2年12月15日~12月31日(6件) 令和3年1月15日(1件)
		韓国(145件)	家禽・野鳥	令和2年12月7日~令和3年1月30日
	H5N8	ロシア(4件)	家禽・野鳥	令和2年12月17日~令和3年1月5日
		香港(1件)	野鳥	令和3年1月6日
		中国(1件)	野鳥	令和3年1月13日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国(113件)	野生イノシシ	令和2年12月18日~12月29日(25件) 令和2年12月28日~3年1月27日(88件)
		ロシア(22件)	豚・野生イノシシ	令和2年11月22日~12月28日(8件) 令和3年1月3日~1月25日(14件)
		ウクライナ(2件)	豚	令和3年1月4日、1月29日
		中国(1件)	豚	令和3年1月17日

令和3年(2021年)1月31日現在

毎月20日はくまもと家畜防疫の日



韓国や台湾など近隣諸国では依然として悪性家畜伝染病が発生しています。地域全体で衛生水準を上げる事が重要です。

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ!

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

